

岩 手 県 金 融 経 済 概 況

1. 概 況

県内の景気は、厳しい状況が続いているが、このところ悪化のテンポは緩やかになっている。

最終需要の動向をみると、公共投資は前年を上回ったが、住宅投資が前年を下回って推移しており、設備投資も製造業を中心に大幅に減少している。この間、個人消費は弱い状況が続いている。

こうした中、生産は、在庫調整の進捗などから減産を緩和する動きが広がっているが、雇用情勢は厳しさを増している。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、所得環境の悪化や雇用調整が続く中で、弱い状況が続いている。

(大型小売店売上高)

百貨店の売上高をみると、主力の衣料品が低調なうえ、身回品や雑貨も大きく落ち込んでおり、前年を下回って推移している。

スーパーでは、内食回帰の動きなどから、食料品はほぼ前年並みで推移しているが、衣料品や身回品が低調なことから、全体では前年をやや下回って推移している。

(家電量販店売上高)

家電販売は、パソコンや携帯電話が伸び悩んでいるものの、薄型テレビや冷蔵庫に動意がみられ、前年並みの動きとなっている。

(新車登録台数)

6月の新車登録台数は、普通乗用車が前月に続き前年を上回ったものの、貨物車が依然大きく落ち込んでおり、全体では前年比 12.7%と2桁台の減少。

(2) 公共投資

6月の公共工事請負金額は、県、市町村の予算の執行が本格化したため、前年を4割方上回った。

(3) 住宅投資

5月の新設住宅着工戸数は、貸家を中心に低調なことから、前年を下回った。

(4) 設備投資

2009年度の設備投資計画(6月短観調査結果*)は、受注の低迷や収益の悪化を背景に、製造業が前年度を大きく下回っているほか、非製造業も前年度を下回る計画となっている。

*09年度計画・前年度比：製造業 52.8%、非製造業 5.7%、全産業 47.8%

3. 生産動向

生産は、在庫調整の進捗などから減産を緩和する動きが広がっている。

(電子部品・デバイス)

電子部品・デバイスは、在庫調整の進捗や海外携帯メーカー向けの需要増加から、減産を緩和している。

(輸送機械)

完成車、自動車部品とも、在庫調整の進捗などから、減産をやや緩和している。

(一般機械)

半導体製造装置や工作機械は、受注の低迷から大幅な減産を継続している。建設機械部品は、在庫調整の進捗などから、減産をやや緩和している。

(その他)

鉄鋼の線材は、世界的な需要の減少を背景に、減産を継続している。また、窯業・土石、木材・木製品は、民間工事の減少から減産を継続している。この間、食料品は、ほぼ横這いで推移している。

4. 雇用・所得の動向

5月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.32倍(前月:0.34倍)と昭和41年1月(0.32倍)以来の低水準となった。また、新規求人倍率(同上)も、0.66倍(前月:

0.74倍)と前月比大幅に低下した。

この間、雇用者所得は、所定外給与が大幅に減少していることなどから、前年水準を下回って推移している。

5. 企業倒産

6月の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数が6件(前月16件、前年同月7件)、負債総額が27億83百万円(前月144億79百万円、前年同月108億78百万円)と、前月比、前年比とも大幅に減少した。

6. 金融面の動向

預金動向をみると、個人預金が堅調なうえ、定額給付金・経済対策資金の振込に伴う公金預金の増加もあって、前年を上回って推移している。

貸出動向は、住宅ローンが頭打ちとなっているものの、地方公共団体向けが増加していることなどから、前年を上回って推移している。この間、貸出金利は、ほぼ横ばいで推移している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代) http://www3.boj.or.jp/morioka/
--